



鳥羽市は「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標としています

とばし教育委員会だより

2016. 7. 1 第8号



G7伊勢志摩サミット 「記念植樹に菅島小児童3名」

5月26日、27日に伊勢志摩サミットが開催され、厳重警備の中、各国の首脳が当地域を訪れました。26日には伊勢神宮（内宮）で県の木に指定されている「神宮スギ」の苗木3本の記念植樹が行われ、鳥羽市からも菅島小学校の児童3名が代表として参加。首脳らに植樹に使うスコップの受渡しを行いました。

発行 鳥羽市教育委員会

脳と体幹を刺激して体力・運動能力アップ！！

～コーディネーショントレーニング～

寝返りして立つ、ゆっくりとはう、体幹を左右にリズムカルに動かすなど単純な動きが中心のトレーニングですが、運動の発達や順番を意識しながら脳と体に刺激を与えることで運動の学習能力を高め、感性・知性の発達につながる能力向上を目指します。

鳥羽市では平成24年度から取り組み、本年3月に作成した「鳥羽市教育振興基本計画」では、全小学校の体育科での実施を目標に掲げ、取り組みを進めています。



安楽島小学校で実施したモデル授業
(写真は昨年の様子)



6月17日（金）に、かもめ幼稚園、安楽島保育所、安楽島小学校でモデル授業を実施しました。また、18日（土）には、親子体験会や指導者を対象とした講習会も開催し、トレーニング方法や理論について勉強しました。

廣川先生が体育の授業で実践した感想

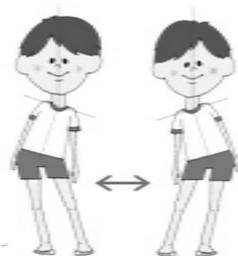
※神島小学校では、ライセンスを取得した廣川先生が体育の授業でコーディネーショントレーニングを実践しています。

コーディネーショントレーニングの内容はとても簡単で楽しく、子どもたちは大好きです！！
そのトレーニング内容は、赤ちゃんの「はいはい（クローリング）」など、人の成長に応じた動きで構成されています。ですから、トレーニングを進めると、学校で学ぶいろいろな運動につながっていき、その運動ができるようになると、子どもたちから「できた！！」「うまくなった！！」の聲が広がっていきます。これが「運動学習能力」なんだなと思います。

Let's Try Co-ordination!!

くの字運動

両足を肩幅に開いて立ち「ズンチャ」など音に合わせて体幹をリズムカルに傾け「く」の字になるよう動きます。「ズン」で「く」の字になり「チャ」で立った姿勢になるよう振り子のリズムで動き続けます。止まる瞬間を作らないようにしましょう。

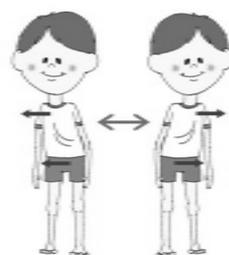


【ポイント】

- ・頭はまっすぐのまま、膝が曲がらないようにします
- ・イメージ通りに動いているか鏡を見ながら行うと効果的です

Sの字運動

両足を肩幅に開いて立ち「ギーコッコ」などの音に合わせて、肩から反応し腰が少し遅れるようにずらしながら、水平に動きます。緩急をつけず一定のリズムで動き続けましょう。



【ポイント】

- ・片足が浮いたり片方の肩が前に出したりしないようにします
- ・「ギー」の時に服のシワが出来るのが一つの目安になります

※ 形を教えて出来るようにするのではなく動きの違いを感じながら楽しみましょう！出来ることが目的ではなく、やろうとしていることが刺激となります。





勢力吉男 せいりきよしお

鳥羽市スポーツ少年団本部長、教諭として市内小中学校を中心に勤務し、鳥羽小学校長を最後に定年退職。大学時代から本格的に剣道を習い、現在は鳥羽剣道協会会長として後進の指導や青少年の健全育成に尽力されています。

「勇気」「自信」「行動力」を

鳥羽市スポーツ少年団では、平成26年度に市内の小学生と保護者を対象に、スポーツ少年団等の活動に関する意識調査を実施し、約83%の回答を得ることができました。この調査結果については、各小学校や各スポーツ少年団の指導者には報告済みですが、興味深い内容を一つだけご紹介いたします。

それは、スポーツ少年団等の活動を通して、子ども達の生活面の改善や運動能力の向上等の効果についての問いです。結果は、「おおいにある(37.2%)」、「ある(32.5%)」、「少しはある(18.6%)」というように、9割近くの保護者の方が子ども達のスポーツ少年団等の活動について「効果がある」と、高く評価して頂いていることです。

近年は、私達が育った時代とは違い、子ども達の遊び場、遊び仲間、遊びの時間が減少し、体を動かす機会が少なくなっています。反面、前述のスポーツ少年団等の活動のように、早い段階から体を動かす機会を得ている子ども達もあり、二極化が進んでいることも事実です。

未来を担う子ども達が、もっとスポーツ活動に慣れ親しみ、そしてその成長の過程で人としての「勇気」・「自信」・「行動力」を習得して欲しいと願っています。

ふるさとの海に学ぶ

教育委員会学校教育課

海の博物館と連携して、海環境体験事業を進めています。この事業では、各小学校の5年生児童が海の博物館を訪問し、学芸員の方から指導を受け、さまざまな活動に取り組みます。

アマモ場の生き物観察



アマモ場にはいろいろな種類の生き物がいるんだな。アマモを育てるのが楽しみ。

海の砂、貝殻などを使ったキャンドル作り

海のものでキャンドルを作って、うまくできたからうれしかった。



見学や体験活動を通して、子どもたちは海の素晴らしさや大切さを体感し、海に囲まれたふるさと鳥羽の魅力を再発見していくことでしょう。

地震・津波に備え、命を守る

教育委員会学校教育課

教育委員会では、実践的防災総合支援事業として、各校・幼稚園で次のような取り組みを行っています。

【防災・減災教育の推進】

三重大学川口准教授（学校防災アドバイザー）による

- ①防災・減災授業
- ②防災マップ作り
- ③地域と連携した防災・減災教育



過去4年間ですべての小中学校で実施し、今年度からは中学校で実施しています。

子どもたちが学習したことを家庭・地域にも発信し、ともに防災について考えてもらうきっかけにしています。

【効果的な避難訓練の実施】

防災・減災教育で学んだことを踏まえ、各校・園がそれぞれの立地条件等に応じた避難訓練を行っています。



「ぼうさい探検隊」で防災力UP

— 安楽島こども会 —

私たちには毎年続けている恒例行事があります。それは「ぼうさい探検隊」。テーマを決め、楽しみながら町の人たちとタウンウォッチングし、その結果を防災マップにまとめ、マップコンクールに応募します（今年で連続12回目）。審査で優秀賞になると東京での表彰式に招待されるので、皆やる気満々で活動しています。そして最後には、町の人に完成したマップを見てもらう発表会をします。

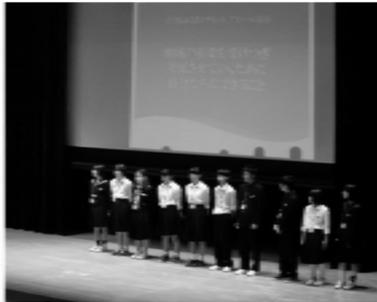
今年も、来年も、その先もずっと続けていけるといいな。



安楽島をタウンウォッチング

司会、発表など小中学生が活躍！ みえ子どもふるさとサミット

5月14日に郷土・国際理解・環境をテーマとして、「みえ子どもふるさとサミット」が開催され、県内各地から小中学生が集い、発表やグループ討議が活発に行われました。



実行委員として参加した鳥羽東中の生徒3名は、司会、宣言文の朗読など中心となって活躍しました。さらに、「アマモ・アサリの養殖」で鏡浦小、「島っ子ガイド」で菅島小が参加しました。子どもたちは、たくさんの人の視線が集まる中、はきはきと発表しました。子どもたちの姿から、この日まで目標をはっきりと決めて、取り組んできたことがよく伝わってきました。

鏡浦小学校

「アマモの根はどんな味？」というクイズの答えに会場から驚きの声！地域から得た多くの知識や経験をいかした発信を行いました。

(答え：あまい味)

菅島小学校

会場を舞台にガイドを行い、島の子ならではの視点や知識を披露しました。そのいきいきとした姿を見て、菅島に行きたくなりました。

文化財紹介 海女文化～御潜神事～

伊勢志摩サミット開催を記念し、5月14日(土)に国崎町老の浜において「御潜神事」が再現され、鳥羽志摩地域の海女さん



神事を前に安全を祈願する海女

84人が白い磯着で参加しました。海の安全と大漁を祈願した後、海女さんは太鼓の合図で一斉に海に潜ってアワビを獲り、2回目には稚貝を放流しました。会場には外務省からのプレスツアーも見学を訪れ、熱心に取材する姿も見受けられ、国内外に日本が誇る海女文化の魅力を発信することにつながりました。

御潜神事・・・のしあわび 熨斗鯨をつくるアワビ採取の儀式。明治4年の御賞献進制度の廃止に伴い盛大な神事は絶えてしまいましたが、この度3年ぶりに再現されました。

編集後記

30数年ぶりに教育委員会へ戻ってきました。当時の事務局は市役所本庁の3階、自身の体型も変わってしまいましたが、今後もスポーツや社会教育を通して子どもたちや多くのみなさんに生きがいを持っていただけるような生涯学習に取り組んでいきます。



西川生涯学習課長